



お祝いの花（ネットからの借用です）

29期・竹本大鶴 君 日展入選10回目おめでとう！

2023年 11月 10日 23期 常任幹事 畑地 豊



竹本大鶴さん近影

最近秋の叙勲に勝るとも劣らないほどの
うれしい出来事が有った。高校同窓生で親交
のある6級下の後輩29期の竹本大鶴君、今は
立派なおっちゃんであるが、その彼が第10回日展
第5科（書）の部に於いて、栄えある入選を果たしたのである。

詳細は省かせて頂きますが、この日展は1907年（明治40年）第1回文展以降、
文展、帝展、日展、改組日展等々名前は何度か変わりはしたもの、「公益社団
法人日展」が主催する日本最大の公募展なのである。

ちなみに昨2022年度実績は8,576点の出品に対して入選は1,089点と入選率は
13%であったという狭き門である。（大東文化大学書道研究所の発表によります）

その彼は過去9回「入選」の記録を持つ。2011年（64歳）に初入選、そのうち
8回は連続である。1年のブランクの後、昨2022年にふたたび入選を果たし、
今回で延べ10回の入選となったのである。

大手超優良企業を52歳で依願退職して、書道教室を開き後進に指導しながら
日展入選を目指して精進を重ねてきたものである。現在は6か所に教室を持ち、
市の文化活動でも指導をされていると聞く。今では押しも押されもせぬ「書家」
として文字通り大好きな「書」に邁進しているのです。

彼から過日もらったメールには次のように書かれていきました。

青春時代、落選、落選の連続で「日展に入選することが夢」から64歳で初入選してからは「日展に入選することを目標」と切り替え、切磋琢磨してきました。

竹本大鶴君、節目の10回目の入選おめでとう！快挙です。我が同窓会の誇りです。
どうぞおいしい美酒に酔いしれて下さい！

(おわり)

出展に向けて練習に取り組んでおられる同君。



北辰会から北野高校・天野校長先生に贈られた
同君作の「雲外蒼天」の書

雲外蒼天の意味

文字通りの意味は、
「雲を突き抜けたその先には、青空が広がっている」
転じて、「努力して苦しみを乗り越えれば、すばらしい
世界が待っている」といったことを指して使われます。

2021（令和3年）6月吉日 竹本大鶴